

市民反発 区長選挙争点に

演劇や音楽の街として知られる世田谷区の下北沢駅周辺の再開発計画が動きだした。区は本年度中にも用地取得交渉を本格化させ、事業を軌道に乗せたい考えだが、「シモキタ」の愛称で親しまれてきた街並みを愛する市民の反発は、依然として収まっていない。

周辺には演劇小屋やライプハウス、ブティックなど個性豊かな千五百もの商業施設が密集する。空襲に遭わず、大規模な開発がなかったため、迷

シモキタ再開発



路のように路地が入り組む独特の景観が形成された。著名人も多数参加した。反対運動が活発化する一方で、防災や利便性向上を求め、開発を急ぐよう求める声も上がっていた。再開発計画は、十月の同区都市計画審議会（会長・東郷尚武元東京市政調査会常務理事）が、紛

再開発計画に揺れる下北沢駅北口の商店街＝世田谷区で

糾の末に賛成多数で了承。都の認可も受けた。計画では、駅前広場を整備し、北口に最大幅二十六層の都市計画道路「補助54号線」を敷設。高さ制限の緩和で、最高六十六層の高層建築も可能とした。二〇一三年度中の事業完成を目指す。

区は、今月初旬に地権者らへの用地補償説明会を開いた。事業にストップをかけるため、反対住民の期待は来春の区長選に集まっている。再選を目指す現職への対抗馬は、いずれも「計画凍結」を公約に掲げた。シモキタ問題は、選挙戦の最大の争点となりそうだ。（浅田晃弘）